



たくましい村松っ子

11月の生活目標：あとしまつ名人になろう

令和7年11月18日 第12号
文責：校長 日高 文博

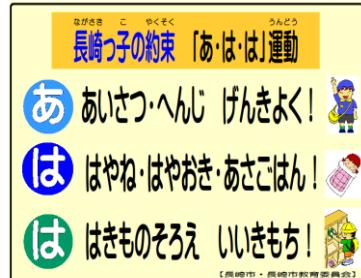
対面のコミュニケーション

「目を見て話を聞きなさい。」と私たちは子どもたちを指導します。その理由をしっかりと分かっていませんでしたが、どこか本能的に「大切なこと」だと感じていたように思います。

その理由は、ヒトの進化の過程にありました。

以前は、ヒトは言葉を話すようになって、靈長類から独自の進化をしてきたのではないかと考えられてきました。ところが、ヒトが言葉を獲得したのは、ヒトとして進化したずっとあとなのです。言葉を獲得するまでは、「対面コミュニケーション」という手法で、顔と顔（目と目）を合わせながらコミュニケーションを図ってきました。ところがコミュニティが大きくなり、より多くの他者とより多くの情報を共有するための言葉が生まれたのです。そして、いつしか言葉はヒトのコミュニケーションの中心となっていきます。

しかし、コミュニケーションの本質は『対面』です。「声色」というように、言葉には音だけではない複雑な要素があり、言葉だけでは伝わらない心根までも伝えることができます。今一度、「目を見て話を聞く」「顔と顔を合わせて話をする」ことを大切にしたいと思います。



1年生どんぐり講座

11月6日（木）に県民の森からゲストティーチャーに来ていただき、生活科の授業が行われました。1年生の子供たちは、どんぐりの種類やどんぐりゴマの作り方を教えていただきました。集中して学習に取り組む1年生の姿から本物から学ぶことの価値をあらためて実感しました。

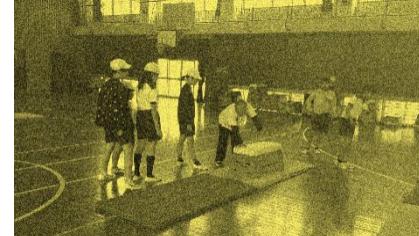


「体操日本一」の指導を受けました！

11月10日、12日の2日間、県体操協会から野原征一先生をお招きして、6年生がマット運動の指導を受けました。

野原先生は、体操競技でインターハイ・国体と2度も日本一に輝かれました。国体では「ムーンサルト（月面宙返り）」を編み出した塙原光男選手ら、後のオリンピアを抑えての優勝。長崎県の英雄でもある内村航平選手を指導されたこともあります。

村松小学校には初めての来校。81歳とは思えない身のこなし・体のキレに子どもたちは拍手喝采。側転や倒立のコツ・練習の仕方など分かりやすくご指導いただきました。



小音会がんばりました

11月12日（水）にベネックス長崎ブリックホールで小学校音楽会が開催されました。村松小学校からは4年生2クラスが出場しました。ブリックホールという最高の舞台で、練習してきたことを観客の皆さんに届けることができました。緊張感が高まった場面で自分たちの力を発揮することができ、大変立派でした。

自分たちの合奏を大きな舞台でやり遂げた充実感と、それを保護者の皆さんから称賛してもらったこと、さらには他校の演奏を聞いて感じたことなど多くの学びがありました。今回の経験を子供たちが、学校生活の中で生かしていくことができるようになります。



新入生への贈り物 サイコロカレンダー

毎年、地域にお住いの山本一成さんから1年生の入学時にサイコロカレンダーをお祝いとしていただいております。今年も来年度の新入生へのプレゼントを人数分いただきました。毎年いただいているのに紹介できていなかったので、許可をいただき、お写真を撮らせていただきました。毎年、ありがとうございます。



池掃除・イルミネーション設置

11月16日（日）におやじの会のみなさんが玄関横の池掃除をしてくださいました。金魚やメダカも大喜びです。また、毎年恒例のイルミネーションも設置してくださいました。夜にはきれいなライトアップが見られます。いつも子どもたちのため、学校のためにご尽力いただき、ありがとうございます。



持久走記録会

今週から予報どおり寒さが厳しくなってきました。寒くなると年中行事である持久走の学習が思い出される方も少なくないでしょうね。持久走記録会の予定は以下のとおりです。

11月25日（火）：1年生・6年生
11月26日（水）：3年生・4年生
11月28日（金）：2年生・5年生

寒さに負けず走り続け、心身の強さを身に付けるために体育科の授業で練習に取り組んでいます。ご都合がつかれる方は、ぜひ応援をよろしくお願ひします。

※画像は個人が特定されないように処理しています。